

平成27年度町民の参画と協働事業

第2回庄内町高校生・大学生議会

～僕らの明日へ、私の主張～

開催日 平成27年11月1日(日)

開催場所 庄内町役場本庁舎 3階 議場

○午前8時45分 高校生・大学生議員へ議員任命書の交付

○午前9時00分 開会 一般質問

高校生、大学生12人が町当局に対し質問します。一人の持ち時間は、質問・答弁を含めて10分以内を目安とし、時間内であれば再質問は何回でもできるものとします。

宮 田 ^{もも}桃 ^か果 議員 (庄内総合高校2年 鶴岡市出身)

【農業分野における地方創生戦略について】

昔は農家を継ぐ人が多かったが、今は若い世代が東京など大都市に進学、就職するケースが多い。農業後継者を増やすためにどのような対策を行っているのか。

もっと農業を若い世代にアピールするため、例えば小中高生に年代が近い青年農業者が農業に従事している姿を見せ、農業の喜怒哀楽を説明し、農業体験もできる場を創出すると良いと思うが、どうだろうか。

齋 藤 ^{かむ}神 ^い威 議員 (庄内総合高校2年 鶴岡市出身)

【庄内総合高校への支援について】

庄内総合高校は、年々生徒数が減少している。その対策として、町では電車通学の生徒への助成を実施しているが、それ以外の生徒へも何かしらの助成はできないものか。

志 田 ^{たか}昂 ^{あき}暁 議員 (庄内総合高校2年 庄内町出身)

【風車市場の活性化について】

新庄酒田道路の整備を見越して、狩川にある風車市場を道の駅に登録すると聞いたが、現在の風車市場では品物の種類や食事メニューなどが少ない。その辺を含めもっと充実させた方が良いと思うが、どう考えているのか。

齋藤 蘭 議員（庄内総合高校 2年 鶴岡市出身）

【商店街活性化について】

新しい商業施設が出来るなか、新しい施設だけではなく、昔ながらの商店街の活性化についてはどう考えているのか。

吉泉 拓哉 議員（庄内総合高校 2年 酒田市出身）

【観光施設について】

「クラッセ」や「町湯」、「出羽三山登山の宿」といった、魅力的な観光施設をもっと増やしていけば、町の活性化に大きく貢献すると思うがどうだろうか。

高橋 真穂 議員（庄内総合高校 2年 庄内町出身）

【高校生への医療費助成について】

庄内町では乳幼児や小中学生の医療費助成は行っているが、高校生になると自己負担になる。高校生に助成は考えられないのか。

堀 美咲 議員（東北公益文科大学 1年 酒田市出身）

【公共料金について】

東北一低い料金設定となっている町営ガス料金や水道料金を抑制できているのはなぜか。また、行政として風力発電に取り組んでいるが、電気料金の抑制ができないのはどうしてか。

風力発電に関連して、庄内町で開催される「全国風サミット」はどのような活動で、今後どのようにこの活動をアピールしていくのか。

沼沢 翔 議員（東北公益文科大学 1年 山形市出身）

【強風対策について】

日本海からの強い季節風から農地等を守るため、庄内地方の沿岸部においては、クロマツを植林し防風林を築いてきた。庄内町も強風地域であるが、防風に関する設備はあるのか。また、これから対策が必要なものや設置予定の設備等はあるのか。

菅原 菜穂 議員（東北公益文科大学 1年 遊佐町出身）

【女性の再就職を促す取り組みについて】

少子高齢化における労働力不足の問題が懸念される中、結婚や出産、育児のために離職した女性が再就職を希望するケースが多くある。女性が一度離職すると、再就職しにくいと言われる環境を変えていくために行っている施策はあるか。

栗本 美咲 議員（東北公益文科大学 3年 鶴岡市出身）

【子育て支援について】

庄内町が若い人を呼び込み、さらに子育てしやすい町に取り組んでいる事はよく耳にする。子育てには「親と子」の関係は大切だが、「祖父母と孫」の関係も大切である。今と昔では子育て方法が変化し、孫との接し方に困っている祖父母もいるという。

中高年を対象に孫の育て方を教える「孫育て講座」が各地で話題を呼んでいるが、庄内町でも核家族が増加しているなか、祖父母に安心して子供を預けられる環境（しつけの仕方、家族間での情報共有方法等）を整備すれば、人口の増加や家庭環境の良好にも繋がると考える。庄内町ではこのような取り組みを行っているのか。また、行う予定はないのか。

岡部 仁彦 議員（東北公益文科大学 3年 鶴岡市出身）

【若者の移住と定住について】

小中学生を育てている家庭が庄内町に移住してくるメリットがあまり感じられないが、何か行っている施策はあるか。また、子育て世代の家庭から移住してもらうためのPR活動などは行っているのか。

鈴木 真幸 議員（東北公益文科大学 3年 朝日町出身）

【学校教育について】

「日本一住みやすく住み続けたい町」の発展には、「教育とジェンダー」は無視できない課題であると考えますが、庄内町では何か具体的な施策は行われているのか。

「教育とジェンダー」は近年注目されている問題であるため、今後住みやすい庄内町の発展を目指すためには、その不安やわだかまりを持っている若者のためにも環境づくりは必要であると考えます。この点について、どう考えるか。

○正午 閉会予定